

## 議事日程

|       |                                                                                                                                                                  |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議名称  | 第 8 期 第 9 回 与謝野町産業振興会議                                                                                                                                           |
| 会議目的  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 提言書の提出に先立ち、提言する内容の主旨を決める</li><li>・ 『阿蘇ベイエリア活性化に関する提言書（仮称）』案の内容確認</li></ul>                                               |
| 会議日時  | 令和 8 年 6 月 12 日（金） 19:00～20:30                                                                                                                                   |
| 会議場所  | 岩滝保健センター 2 階 会議室 1・2                                                                                                                                             |
| 議題等一覧 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 先に提言する主旨について（19:00～19:15）</li><li>・ 『阿蘇ベイエリア活性化に関する提言書（仮称）』案の内容確認（19:15～20:00）</li><li>・ 質疑応答・まとめ（20:00～20:10）</li></ul> |
| 今後の進行 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 『阿蘇ベイエリア活性化に関する提言書（仮称）』案を完成させる</li><li>・ 上記提言書を与謝野町に提出する</li></ul>                                                       |
| 配布資料  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 総合計画への掲載文章（案）</li><li>・ 『阿蘇ベイエリア活性化に関する提言書（仮称）』案</li></ul>                                                               |
| メモ    |                                                                                                                                                                  |

## 阿蘇バイエリア活性化に関する提言書(仮称)案

令和8年 月

与謝野町産業振興会議

## 1. はじめに

### ■背景

平成28年3月、『阿蘇ベイエリア活性化マスタープラン』が策定され、各種の関連する取り組みが実施されてきましたが、効果が実感しづらい状況にありました。そこで、改めてマスタープランを確認したところ、『阿蘇ベイエリア活性化マスタープラン』は、「航路復活」を最重要課題とし、航路復活を阻む10個の課題を挙げ、それらの課題を解決する10個の方策をプロジェクトとしてまとめたものであることが分かりました。

### ■目的

『阿蘇ベイエリア活性化マスタープラン』の策定から10年が経過し、状況や社会が変化していること、また、現在、阿蘇ベイエリアの活性化において、最初に取り組む内容は、「航路復活」ではないと考えることから、今後は、新たな計画のもと、阿蘇シーサイドパークを拠点に、阿蘇ベイエリアの活性化を図られることを提言します。

## 2. 阿蘇ベイエリアの課題と強み

### ■課題

伊根浦と天橋立エリア(文殊地区、府中地区)には、多くの観光客が訪れていますが、阿蘇ベイエリアに立ち寄られる観光客は極めて少ないです。持続可能なまちの活性化には事業資金が必要で、観光客による地域消費は事業資金となり得ますが、阿蘇ベイエリアには、観光客に長時間滞在してもらい、質の高い商品や体験を通じて地域に還元してもらえるような施設や仕組みが不足しています。

### ■強み

阿蘇ベイエリアの魅力は、阿蘇海に臨む景観・眺望です。山・川・まち・海へとゆったりと繋がる立地環境に加え、まちにおいては、丹後ちりめんの産業も存在します。また、陸地から、のんびりと横一文字に天橋立を見ることができるのは阿蘇ベイエリアだけです。また、阿蘇海に隣接し、天然芝が広がる阿蘇シーサイドパークもあります。阿蘇シーサイドパークでは、軽スポーツやイベントを開催することができますし、遊具も充実しており、阿蘇海を背景に、心地よく過ごすことができます。



### 3. 望む将来像

阿蘇ベイエリアの活性化において、阿蘇シーサイドパークは拠点となる重要スポットと考えます。観光客や来園者に、阿蘇シーサイドパークで一定時間滞在してもらい、質の高い商品や体験に対して地域に還元してもらえるような場所となることを望みます。また、阿蘇シーサイドパークから近くのスポット、例えば大内峠一字観公園や丹後郷土資料館、阿蘇海1周などへ周遊してもらい、より多くの地域消費に繋がることを望みます。そして、阿蘇ベイエリアが、「与謝野町の海の京都」の玄関口として、賑わいや活気ある場となり、現在の美しく手入れされた阿蘇シーサイドパークの維持管理にもつながることを望みます。



阿蘇シーサイドパークを拠点に滞在・周遊するイメージ図

### 4. 具体的な施策

#### ■ハード面の整備

- ・阿蘇シーサイドパークのグラウンド・ゴルフ場に、カフェや朝市などができる建物を建築する。その際、民間のノウハウを積極的に取り入れる
- ・阿蘇シーサイドパークのストリートファニチャー等を整備する
- ・阿蘇ベイエリアの観光スポット等に、景観を損なわないよう必要最小限で誘導・説明・案内のためのサインを設置する
- ・周遊スポットとなり得るスポットを整備する

## ■ソフト面の整備

- ・阿蘇シーサイドパークを個人・団体・イベント等で使用しやすいよう、公園内に使用区画を設定する
- ・阿蘇シーサイドパーク使用申請に係る手続きを簡略化する
- ・阿蘇シーサイドパーク使用におけるルールや規制内容を整理・発信する
- ・周遊スポットとなり得る観光スポットを定期的・継続的に維持管理する

## ■情報発信

- ・阿蘇シーサイドパーク使用状況について情報発信する
- ・魅力的なスポットや周遊コースについて情報発信する

## 5. 推進体制とスケジュール

### ■推進体制

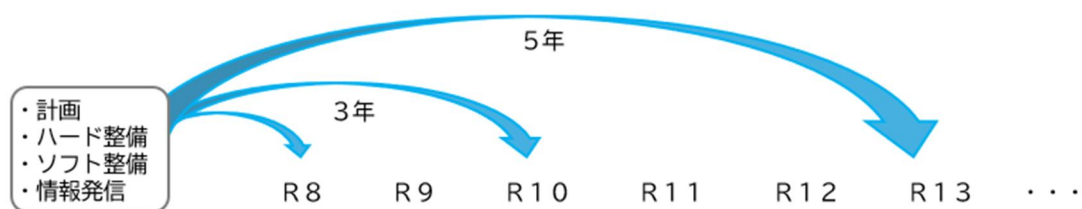
阿蘇ベイエリアの活性化において、最重要拠点と考える阿蘇シーサイドパークが町有施設であるため、与謝野町が中心となり整備が推進されることが不可欠です。ただし、活性化を図るための計画の策定においては、地域町民、与謝野町観光協会、民間事業者等、様々な立場の人の意見を参考にされることが必要であると考えます。

加えて、新たな施設の整備・運営につきましては、民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を積極的に活用されることが重要であると考えます。

さらに、情報発信につきましては、与謝野町と与謝野町観光協会、民間事業者等により、発信や更新が継続的に行われることが必要です。

### ■スケジュール

実行できる内容から、早々に、順に推進されることを望みます。併せて、町民が「阿蘇ベイエリアが活性化している様子」を実感できるよう、3年、5年といった比較的短いスパンを意識しながら実行に移されることが重要です。



## 6. 期待される効果

阿蘇ベイエリアが、一文字の天橋立を背景に、ゆったりと心地よく滞在できる場所となります。それにより、観光客だけでなく町民の来訪者も増え、賑わいあふれる場所となります。また、来訪者の地域消費が拡大することにより、阿蘇ベイエリアの活性化を持続可能にすることができます。



## 7. おわりに

観光客が楽しく心地よく過ごせるということは、町民を含む、訪れた人の多くが快適に過ごせるということであると考えます。阿蘇シーサイドパークを拠点に阿蘇ベイエリアが活気づくこと、さらには、阿蘇ベイエリアからの周遊、阿蘇ベイエリアへの周遊が生まれ、与謝野町全体が豊かで賑やかになることを切に願います。



## 3. 望む将来像について

阿蘇ベイエリアの活性化において、阿蘇シーサイドパークは拠点となる重要スポットと考えます。観光客や来園者に、阿蘇シーサイドパークで一定時間滞在してもらい、質の高い商品や体験に対して地域に還元してもらえるような場所となることを望みます。また、阿蘇シーサイドパークから近くのスポット、例えば大内峠一字観公園や丹後郷土資料館、阿蘇海1周などへ周遊してもらい、より多くの地域消費に繋がることを望みます。そして、阿蘇ベイエリアが、「与謝野町の海の京都」の玄関口として、賑わいや活気ある場となり、現在の美しく手入れされた阿蘇シーサイドパークの維持管理にもつながることを望みます。

『海の京都』とする与謝野町の玄関口として、「与謝天橋立 IC」(高速道路インターチェンジ出入口)から近く、阿蘇海に面する阿蘇シーサイドパーク周辺を拠点に位置付け、阿蘇ベイエリアの活性化を望みます。伊根浦や宮津湾へつながるルートの立地を活かし、天橋立や丹後郷土資料館を訪れる人々と与謝野町をつなぐ玄関口として、与謝野町の魅力との出会いを生み、与謝野地域の賑わいと経済循環を育む場となることを望みます。また、阿蘇エリアを拠点として、訪れる人々が海・川・山でつながる与謝野町全体へと足を延ばし、地域の産業や暮らし、自然、文化との出会いを通じて、その魅力を深く感じられる環境づくりを望みます。こうした交流と周遊の広がりが、地域への理解や愛着を育み、持続的な賑わいの創出につながることを望みます。



阿蘇シーサイドパークを拠点に滞在・周遊するイメージ図

## 7. 結びについて

①

観光客が楽しく心地よく過ごせるということは、町民を含む、訪れた人の多くが快適に過ごせるということであると考えます。阿蘇シーサイドパークを拠点に阿蘇ベイエリアが活気づくこと、さらには、阿蘇ベイエリアからの周遊、阿蘇ベイエリアへの周遊が生まれ、与謝野町全体が豊かで賑やかになることを切に願います。

②

来訪者が楽しく心地よく過ごせるということは、町民を含め滞在する多くの者が快適に過ごせるということであると考えます。阿蘇シーサイドパーク周辺を拠点に阿蘇ベイエリアが活気づくこと、さらには、阿蘇ベイエリアから与謝野町全体へとつなぎ、与謝野町全体が豊かで快適な環境を築いていくことを切に願います。

③

来訪者が楽しく心地よく過ごせる環境づくりは、町民をはじめ、この地域に関わる多くの人々が安心して豊かに暮らし、過ごせる環境づくりにもつながるものと考えます。

阿蘇シーサイドパーク周辺を拠点として阿蘇ベイエリアの活性化が進み、その賑わいや魅力が与謝野町全体へと広がることで、訪れる人と暮らす人がともに豊かさを感じられるまちへと発展していくことを願います。